

まちづくり市民ワークショップ《第1回全体ワークショップ》 ニュース

日時:平成 28 年 11 月 12 日(土)

13:30~15:30

場所:加東市社公民館 2階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 ワークショップ開催趣旨について
- 4 ワールドカフェ
- 5 今後のスケジュールについて
- 6 閉会



当日の会場の様子

第1回全体ワークショップには、39人の市民の皆さんに出席していただきました。

◆第1回全体ワークショップの内容

- ワールドカフェ方式により、参加者間においてなるべく多くの交流と対話をさせていただく中で、「かとうの魅力」を考えていただきました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、分野別の第1回ワークショップにおける「加東市の良いところ、良くないところ」の検討のきっかけとしていただきます。それを踏まえ、第2回ワークショップにおいて加東市の将来像(分野別の目標など)について検討していただきます。

◆ワールドカフェ

- 最初に市(受託者)からワールドカフェの特徴や進め方の説明を行い、参加者の皆さんにその内容を確認いただきました。
- 続いて、ワールド・カフェの最初の問い「あなたにとって「かとうの魅力」といえばなんですか？具体的な例を挙げて話してください。」について、20分間話し合っていました。
- テーブルを移動していただいた後、第2の問い「私たちにとって、「かとうの魅力」といえばなんですか？未来に残したいもの、もっといいものにしたいことなどを挙げてみてください。」について、20分間話し合っていました。
- 最後のテーブル移動の後、第3の問い「「かとうの魅力」を高めて、未来につなぐために、あなたは(仲間と)何ができますか？「明日からできること」にまで、手元



に引き寄せて考えてみてください。」について、20 分間話合っていました。1 回目、2 回目とあわせ、たくさんの交流と対話を積み上げていただきました。

○そして、最後に参加者の皆さんの意見の収穫として、大きめの付箋紙に〇〇〇〇という「かとうの魅力」を、未来につなぐ・つくるため、わたしは(仲間と)こんなことができる！“こと”を書いていただき、市がパネル上で付箋紙をグルーピングして、整理しました。この付箋紙 1 枚 1 枚がこれからのまちづくりを考えていく上において活かされていくことになります。



◆収穫(ハーベスト)結果

コミュニティ等

- 住み良い「かとうの魅力」を未来につくるために、子育て、医療、交通、文化面を伸ばす
- 自然豊かで交通機関に恵まれている素晴らしい地域「かとうの魅力」を、仲間と加東市以外の人にアピールしていく
- 人と人とのつながりを大事にしていく
- 「地域コミュニティ」という「かとうの魅力」を未来につなぐため、私は地域と子どもが楽しめるイベントを盛り上げることができる！
- 地域(近所)とのつながりを豊かにするため、地域のイベントに参加する
- 人が温かい、人とのつながりが「加東の魅力」であるため、それを未来につなぐため、地域の人達と交流を深め、日頃からコミュニケーションを大切にして地域の力を深めることができる
- 山登りによい、走りやすい、災害の少ないまちやまつりを未来につなげる
- 人の輪をつなげていく
- 誰もが住みやすい「かとうの魅力」を未来につなぐ・つくるために人が集う場・機会づくりのお手伝いをする
- 「子育てがしやすい」(交通の便、公共施設の充実、地域のコミュニティ)という「かとうの魅力」を未来につなぐために、私達は①市民主体の PR 活動やコミュニティの醸成に向けた声かけを地域ですていくことができる！
- 外から来た人を受け入れる寛容性、多様性(ダイバーシティ)のあるまち、山を活用した健康づくりのまち、安全に走れる自転車道路のあるまち、花あふれるガーデンシティ、コミュニケーションを深めて、市民が結合していけるまち
- 自分の意見をしっかり言う
- 自分と同世代以外の方々の考えを知り、その考えに思いやりを持つ

魅力発信

- 魅力が多い！わたしは「かとうの魅力」を SNS を使ってアピールする！！
- 市民から「かとうの魅力」を PR できるように、市民によいところを知ってもらおう(文化を発展させていく)
- 市民に加東市を知ってもらう
- 「かとうの魅力」を HP・広報・チラシ等(市役所業務の中で)、SNS 等(個人として)で発信する
- 市民も加東市のことを知らない(内部からの醸成)
- 加東市のよいところについて話していく過程で、もっと魅力を PR するとともに、観光産業に力を入れるべき(市役所職員にとどまらず、興味・関心のある人を募集して調べるところを手伝ってもらおうとよい(リタイヤ世代が増えている)、山田錦は全国的に知名度が高い、清水寺とその周辺の川や村、赤穂藩飛び地など…)
- 加東市の PR の必要性はあまりない(セクション毎に知っている) ex.ゴルフ場、清水寺、東条湖、朝光寺等、東京の人に知らなくてもよい
- 酒米山田錦の産地である「田園かとう」の魅力、ゴルフのまちかとうを伝える
- 豊かな自然、神事、山田錦や釣り針など、誇れるものが多い「かとうの魅力」を未来につなぐため、その魅力を一人でも多くの人に話をする(知ってもらう)、PR する
- 衣食住や交通にしてもそれなりに揃っている無難さを PR する(地域活動に参加)



山田錦等農産物

- “農業”という「かとうの魅力」を未来につなぐために、野菜・果物・米等を大切に食べる！
- 山田錦、日本酒のおいしさを若い人に伝え、自然豊かな加東を若い人と共有したい
- 山田錦という魅力を残していくため日本酒を飲む
- 山田錦の魅力を伝えるため色々な人と酒を飲む(祭りに参加する)

文化歴史等

- 加東市の歴史掘り起こし(①赤穂藩飛び地、吉田忠左衛門が住んでいた社を大河ドラマでPR、②清水寺のルーツの探索(京都清水寺より古く鴨川、黒谷もある))
- 赤穂浪士にまつわる事柄について関心のある方を募集して調べる(高齢者が集える場を作る)
- 祭りや布団屋台という「かとうの魅力」を未来につなぐため、祭りに参加できる健康な体づくり(ゴルフ、山登り等を通じて)を行う
- 資源(魅力)たっぷりの物を集約して、柱をつくり、PR する(私は仲間と積極的に参加できる(参加型))
- ハイキングコースを整備して連結する

その他

- ハーモニカや歌をグループホームなどで披露する(高齢者の中で活動)
- 健康づくり
- ゴミの量を減らす
- 公園の美化を続けて推進していく
- 地域の魅力箇所巡りをグループで行う
- 公園が多いので、積極的に利用するとともに、知人に勧める
- 県立播磨中央公園の花と緑を守る
- 人口を増やすこと



◆次回(第1回分野別ワークショップ:「文化」「安心」分野)の予定

日時:11月26日(土)13:30~

場所:加東市社公民館 2階 研修室

内容:「文化」「安心」分野における加東市の良いところ、良くないところについて意見交換等を行う。

発行:まちづくり市民ワークショップ事務局(加東市協働部企画協働課)

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp